

日時：令和4年11月26日 7:00～8:00

会場：大阪ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター ルーム 8 + Web Meeting; Zoom 使用

参加者(22名)；吉田剛委員長 川端茂徳 岩崎博 寒竹司 重松英樹 後迫宏紀 谷口慎一郎 橋本淳 船場真裕 町野正明 森戸伸治 高橋雅人 安田明正 山本直也 和田簡一郎 黒須健太 安藤宗治 田所伸朗 藤原靖 中西一義 高谷恒範 各委員(敬称略)

今釜史郎 アドバイザー(敬称略)

欠席：松山幸弘 アドバイザー 小林和克(敬称略)

■議題1：2022年度モニタリング認定医審査、再審査結果

・後迫宏紀委員より今年度の認定医審査の結果について報告があった。54名うち1名が不合格となり合格者53名(合格率98%)となった。また認定審査の提出書類の参考となるモニタリング波形見本が審査基準に即していない面があり今後改定を加えることで同意がなされた。

■議題2：2023年度 認定医試験、問題作成、参考図書、波形レポート案等について

・2023年4月15日(土)札幌にて第21回脊椎脊髄病研修コース第IVコース(モニタリング脊椎脊髄病研修コース)が開催される予定である。講義1. 脊髄モニタリング総論を重松英樹先生、講義2. 運動系・感覚系モニタリング各論を高橋雅人先生、講義3. 脊椎脊髄手術モニタリングのアラームポイントと合併症対策を吉田剛先生が担当することとなった。試験監督は吉田剛委員長、後迫宏紀、黒須健太委員が担当することとなった。

・モニタリング波形の判定(特にTNやrescue)基準の明確化について議論された。また、提出された波形レポートに症例の偏り(腰椎疾患のみ、TNのみ)があり、部位別(頸椎・胸椎・腰椎など)の波形レポートの提出が必要ではないかと提案がなされた。参考図書として、臨床神経生理学会の「術中脳脊髄モニタリングの指針」等が採用された。

・試験問題に関して、上記参考図書・モニタリングに関するe-learning・講義資料などから問題を作成する。試験問題は去年と同様に30問を予定しており、pool問題15問(50%)、新規問題15問(50%)とし、新規問題の作成期限を2022/12/25とした(後日各担当者に連絡)。安藤宗治委員より問題作成後のブラッシュアップに労力・時間を有することから問題作成とブラッシュアップ担当を分ける方針とした。

■議題3：モニタリング講習会等、普及活動について

・モニタリング講習会として今後各施設での見学を再開していく予定である。講義は各施設で3時間のビデオ講義の時間を確保することは困難である。認定試験は厳格性・公平性を保つためにJSSR期間中に行うことが望ましい。現状ではこれまで通りJSSR期間中にモニタリング講義および試験を受けていただく。

■議題4：研究進捗

下記5委員からのモニタリング研究進捗があった。

名古屋大学 町野先生、奈良医大 重松先生、山口大学 船場先生、杏林大学 高橋先生、浜松医大 黒須先生から研究報告があり、さらなる研究推進のためにモニタリング excel file の追加項目について議論した。

■議題5：次回委員会日程、その他

・次回開催予定日：2023年2月3日(脊髄機能診断学会前日) 19時～20時

開催予定地は、①日航奈良ホテル(JR奈良駅) 16万5000円、②アクティ奈良(近鉄奈良駅) 8500円

であり予算・立地を総合的に判断し、②を優先して事務局と相談することとなった。

以上